

国際バカロレア教育推進事業

①取組内容

「郷土を愛し、探究的に学び、未来を創る人づくり」を教育理念に掲げ、市民が関わり、高め合いながら、探究的な活動が沸き起こる教育を推進しています。子供たちがこれから活躍する社会は、生産年齢人口の減少や人工知能(AI)などの技術革新により、社会構造や雇用環境が大きく変化する時代になります。このような時代に対応できる資質・能力を身に付け、能動的に学び続けられる子供を育成するため、その取組の一つとして、探究的な学びを通じて国際的な視野や主体性を育む「国際バカロレア(IB)教育」を導入しています。令和3年に大宮小学校が全国公立小学校初の認定校に、令和4年には同校区の香北中学校が認定校となり、小中9年間の学びをIB教育で繋いでいます。

②取組にあたり工夫した点や注力した点

IB教育実践を教育関係者、地域の方々を対象に広く知ってもらうために、両校が公開授業研究会や成果発表会を開催したり、学校のHPにて取組みを発信しました。

③取組による効果

IB教育の実践を地域や保護者と共有することで、地域全体に教育への参画意識が高まり、地域が主催するIBワークショップ開催や、地域と子どもによる協働的なボランティア活動等に発展しています。まさに学校を核とした地域づくりにIB教育が大きく貢献しています。山村地域のこれからの学校の在り方として、公立学校へのIB教育導入は全国的にも注目されており、全国からの視察依頼が後を絶ちません。

【J'Ensembleの制服を小学生に説明している様子】



【高知工科大生との授業の様子】



【IBワークショップの様子】



【地域と子どもによる協働的なボランティア活動の様子】

